

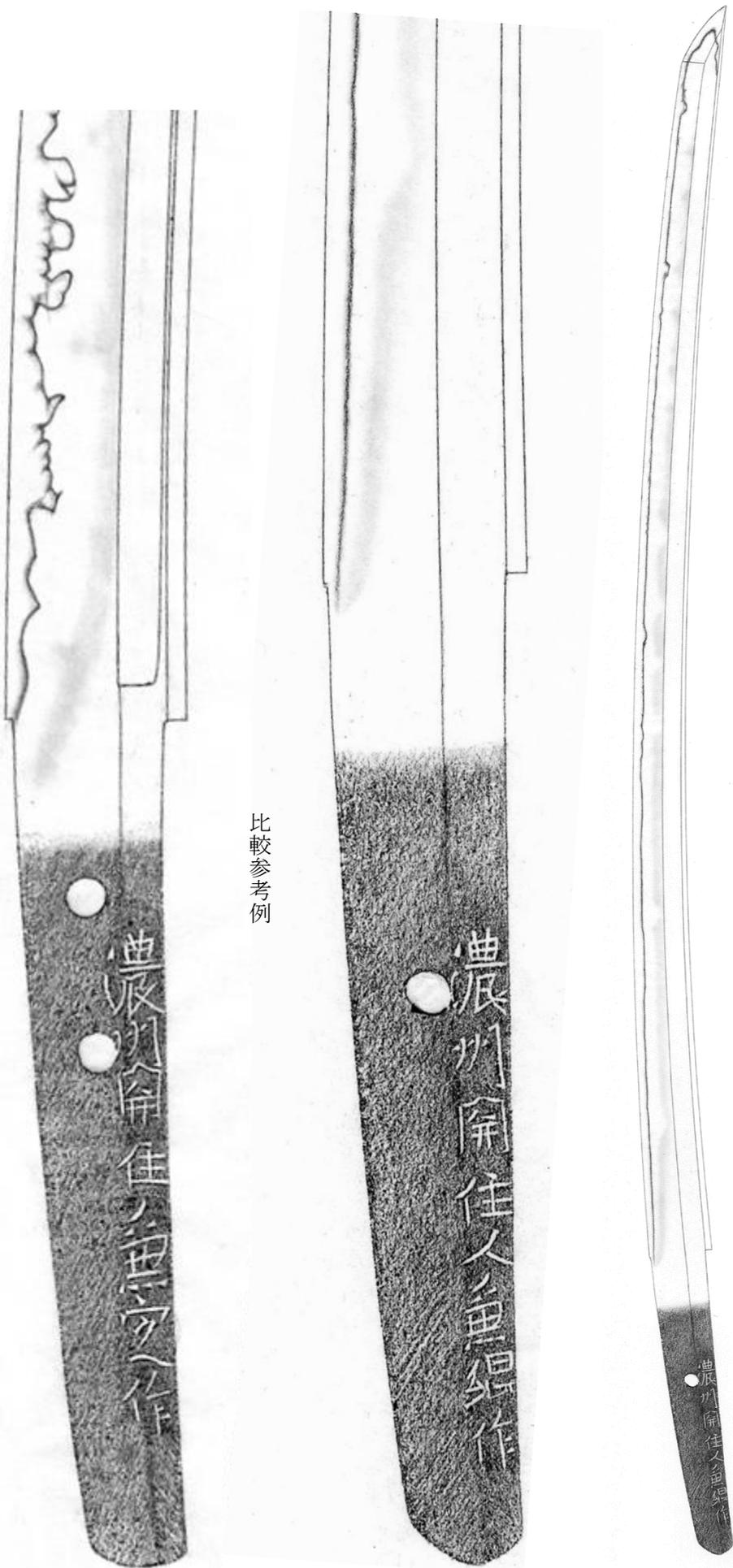
資料4 刀銘 濃州関住人兼綱作 刃長66.2糎 反り1.7糎

鎬造り、やや低めの庵棟、鎬幅広く鎬高く、平肉付く。

鍛 板目、刃寄りは流れ杵となつて詰み、鎬地は大板目が肌立ち、乱れた映りが鮮明に立つ。

刃文 直刃を基調に節刃を交え、刃淵にほつれごろがあり、裏腰元に足入る。

帽子 表は小さく湾れ、尖りごろに先小丸となり地蔵風、浅く湾れて深く返る、裏は直に先中丸、僅かに沸づいて掃き掛け、深く素直に返る。



比較参考例